

鹿児島大学お弁当の日チャレンジ

～令和5年度食育ワークショップから新たな活動が花開いてます！～

令和5年11月3日、九州農政局が鹿児島大学で開催した食育ワークショップにおいて、講師の佐藤弘氏から「弁当の日」の紹介がありました。

食育ワークショップに参加し、この「弁当の日」(※)の取組に影響を受けた鹿児島大学の学生有志が、11月13日、「鹿児島大学お弁当の日チャレンジ」を開催しました。「弁当の日」としてはまだまだ形にならないので、とりあえず「チャレンジ」とつけてみたそうです。参加者6名が集まれるのが、夜しかなかったということで、急な寒波で寒さに震えながらでしたが、公園の芝生で集まって、「思い出の味・得意料理」をテーマに作られた一品を持ち寄り、舌鼓をうちながらおしゃべりを楽しんだ時間となったとのことでした。

参加者は相当楽しかったようで、引き続き開催しよう！ということになり、第2回目も開催される予定です。

このように、食育ワークショップから「鹿児島大学お弁当の日チャレンジ」という形で取組が広がったことは、若い人の行動力に感心させられるとともに、食育ワークショップを開催した私どもにとってもやりがいいただきました。

(※)「弁当の日」：2001年香川県滝宮小学校の竹下和男先生が始めた子どもが自分でお弁当を作って学校に持ってくるという取組で、①子どもだけで作る、②小学校5・6年生のみが対象、③10～2月に月1回で計5回を繰り返す、という3つの決まりがあります。



